

その人らしさに寄り添う ～小川看護師との関わりを通して～

社会福祉法人愛光園 高齢福祉事業部
介護老人保健施設 相生
相談室主任 山本 梨恵
看護師 小川 朋美

はじめに

S. K様（74歳）軽度の知的障害

- ・障がい福祉事業部 グループホームにて生活
- ・相生で知的障がいのある方のターミナルを見据えた入所は初めてのこと

⇒長年法人のサービスを利用、法人内で支えたく入所を受入れ

* 本人様の障がい特性を“Sさんらしさ”として受け止めることができた

生活歴



地域の
グループホーム

阿久比町立
もちの木園

- ◎リーダー的存在
- ◎自分の役割を持つ

- ◎明るく活発
- ◎嫌な顔せず作業をする



作業がえらいでやめるわ
H27 多発性骨髄腫 と診断

3

法人内のバトンリレー



住宅改修がなされている 介護保険のデイサービス
川口グループホーム こぶし

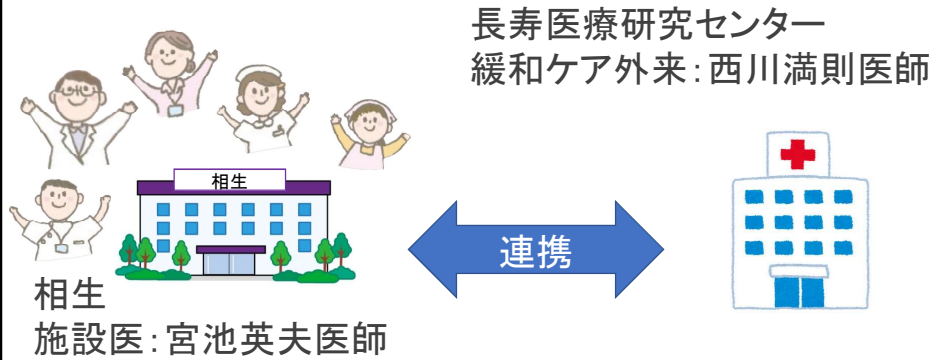
・夜勤対応ができない
→夜間の急変時に困ってしまう

・デイサービスを休んだ日
→一人になる時間ができてしまう
(ヘルパーはずっと一緒には居られない)

グループホームでの
看取りが困難

4

相生入所の提案



- ◎癌の痛みのコントロールが可能
- ◎癌の方のお看取り

5

Sさんの気持ちの変化

歩けるうちはグループホームで生活したい！



お医者さんがいる場所は

安心



相生での入所を決心



6

相生でも変わらない生活を

～役割を持つ～

◎お仕事として

→清拭畳み・広告でメモ用紙作り

違うよ、こうだよ

* 責任感から他利用者様に
対しこだわりを押し付けてしまう

⇒職員が間に入りフォロー

7

相生でも変わらない生活を

～お世話したい気持ち～



お世話したい！
お手伝いがしたい！

どうする？
やってあげようか？

この人〇〇だよ！！

介入しすぎてしまう・配慮に欠けてしまう

8

職員との関係

お話大好きなSさん



職員とも積極的にお話



なに～もう帰っちゃうの??

帰りにはぎゅっと**ハグ**!!!

また明日だね!

9

小川看護師の存在

◎デイサービス こぶし での関わり

◎入所前に暮らしていた

グループホームと小川家をご近所



特別な存在

会いたかった!

元気だった?

10

Sさんらしさ



- ・明るい
- ・テンションが高い
- ・同世代の方に比べ若い

知的障がいとしての特性ではなく
本人様らしさとして自然と受け入れサポート

11

家族様の存在

◎月2回自宅への外泊

可能な限り続けたい

◎居室の写真

“みんなKちゃんのこと大好きだよ”



うちの子がね！

家族の絆

12

免疫力の低下

带状疱疹:右脇腹に痛み
⇒痛み止め効かず

悲しくてしょうがない

小川さんいる?

傾聴し手を握る
⇒涙がおさまる

看護職・介護職・リハビリ職・相談員が気にかけて訪室

13

食欲低下



パンやゼリーなら食べれる

看護主任に報告

持参していたアンパンをすぐその日に提供
⇒食べることもできた

栄養士に報告

パン・栄養の高い“エプリッチ(甘い豆腐)”
の提供をスタート

14

精神面の変化

痛み＋鬱的な様子 ⇒ 同室者が気になる

隣がうるさくて眠れなかった

居室を移動して配慮

ここはいいね



15

症状の改善

相生のお花見に参加



綺麗に咲いとる！

16

再び体調不良

「眠たい、何かおかしい。」 体がだるい

食欲低下
歩行が辛い
手の痺れ・握力の低下
少し歩いただけで呼吸・喘鳴
倦怠感



再び主食をパンに変更
甘い豆腐の再開

17

「なんでこうなっちゃったのかな？」

具体的な訴えはない



身の置き所がない痛み
⇒自分にとって安楽な体勢を探していた



本人の思いを傾聴し、
その日の内に何度も居室環境を変更して対応

18

お母様の一周忌の法要

Sさん

参加したい

相生：施設医と相談、外出を検討

自宅に帰るお手伝いをさせて頂きたい

家族様

何とか参加させてあげたい



19

緩和ケア外来に受診

状態悪化

施設医・看護内で相談

⇒本人にとって安心・信頼のある小川看護師が同席

骨髄腫からくる 高カルシウム血症



心臓・肺機能の低下 がみられた

20

今後について

小川看護師



今入院して、
また相生に戻れるの？

不安…

相生で1分でも1秒でも長く生活
できるようになってほしい

入院の目標は、相生で経過よく
予後が過ごせるようにする為



西川満則医師 21

入院



どう？入院してみない？

う～ん、分かった
入院する

一周忌の法要は大丈夫ですか？

元気になったらまた行けるから
今回は大丈夫

Sさんの納得を得て入院

⇒ 一周忌の法要には参加できず

緩和ケアの医師との話

“残された時間は1週間～1ヶ月程度”

妹様

母の最期のような苦しみは
Kちゃんに味わって欲しくない



西川満則医師



相生でも痛みのコントロールは可能
実績もあるから大丈夫

⇒ 退院時に医療用麻薬を処方

23

退院し再び相生へ

看護師が“一緒に自宅へ帰るお手伝いができる”
と再び妹様にお伝えする



妹様よりSさんにお話をされる



「えらいで、行きたくない。」

24

退院した翌日から

呼吸が苦しそうな様子



施設医の指示で医療用麻薬開始



2時間後には楽になられた様子

25

「トイレに座りたい」

△身体への負担が大きく
オムツを使用 ⇒ ご自分ではずされてしまう

Sさんの思いを受け止め
ポータブルトイレでの排泄を
できる限り支援



26

毎日の面会

退院後、毎日のように家族様の面会



好きなもの・食べやすいものの差し入れ



思いに応えるようにお話、食べ物を召し上がる

27

“思いに寄り添う”



グループホームに居た頃は楽しかったな…

小川看護師ができたこと

~~癌の末期だから~~ ~~障がいがあるから~~

ただただ、目の前に居る Sさん の話を聴く

Sさんにとって居心地の良い場所・時間が
少しでも長く続いてほしいと願った…

28

5月27日 深夜3時過ぎ

「足。」と訴えあり

→足をマッサージし、湯たんぽを使用

⇒苦痛表情がなくなり良眠

早朝

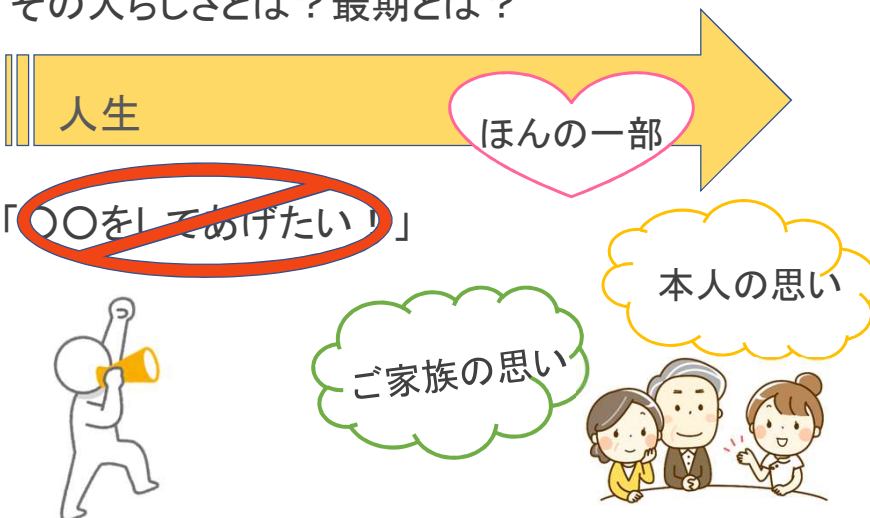
徐々に呼吸が浅くなり

9:35 眠られるように永眠

29

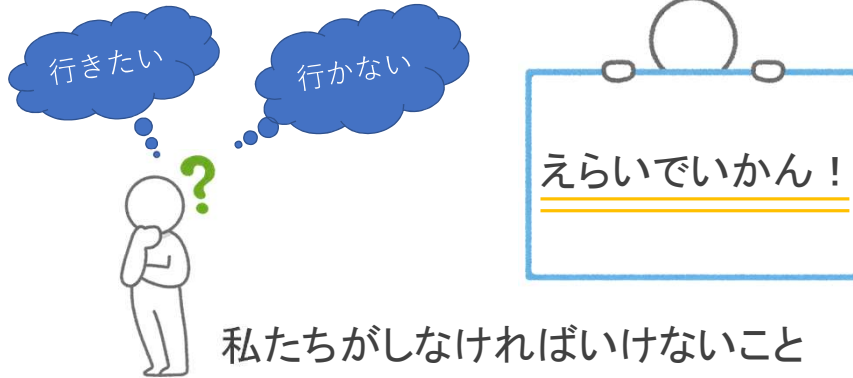
思いを汲み取る

その人らしさとは？最期とは？



30

思いを汲み取る



私たちがしなければいけないこと

- × 私達の想いの押し付け
- ◎ 謙虚にいること

31

丸ごと受け止める

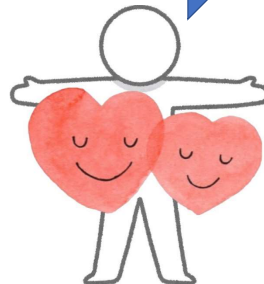
寄り添って考える → 明確な答えが見つからない！



何ができたか

結果

どう寄り添ったか
向き合えたか



32

ご清聴ありがとうございました